

株式会社 谷口土木

2022年度

環境経営レポート

(対象期間:2022年9月1日~2023年8月31日)



発行日:2023年11月30日
発行責任者:谷口 裕幸

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
認証・登録の対象組織・活動	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応の試行・訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8

株式会社 谷口土木

環境経営方針

環境理念

当社は、湖南地域の象徴である三上山や野洲川の環境を守り、育てる事を基本方針として、環境に優しい土木工事を目指します。

行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした土木工事をしています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
 - ① 二酸化炭素排出量削減のため、事務所や建設工事での電気と化石燃料の削減を行います。
 - ② 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ③ 建設現場から排出する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します
 - ④ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ⑤ 環境活動の建設事業における社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定:2009年1月1日
改定:2018年9月1日

代表者 谷口 裕幸

□組織の概要

更新日：2022年9月7日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社谷口土木
代表取締役 谷口 裕幸
- (2) 所在地
本社 〒520-2324 滋賀県野洲市近江富士1丁目7-16
資機材置場 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺東3丁目8-5
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 : 代表取締役 : 谷口 裕幸
連絡担当者 : 総務 山本 美喜子
連絡先 : TEL : 077-518-0810 FAX : 077-518-0785
Email : tanidobo@jeans.ocn.ne.jp
- (4) 事業活動の内容
滋賀県知事許可 特1-21710号 土木工事・水道施設工事・舗装工事
- (5) 事業の規模
・売上高 418 百万円 (2021年度)
・従業員数 12 人 (2023年4月1日現在)

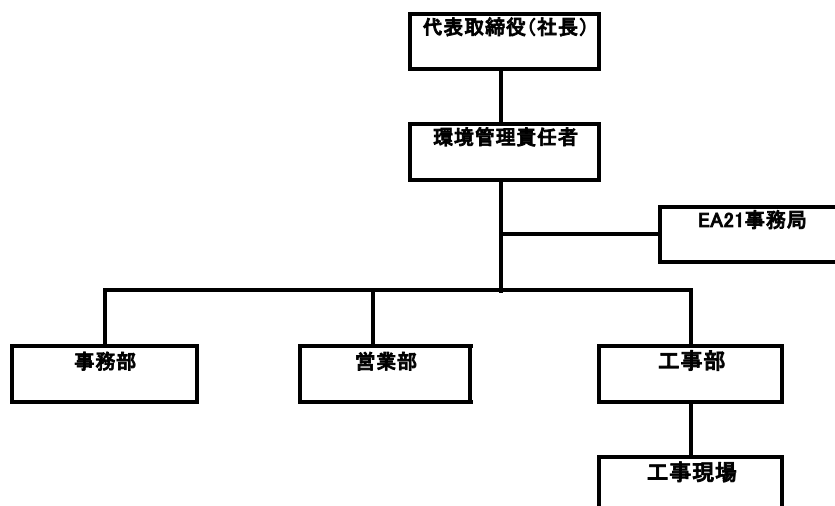
(6) 事業組織

	面積:m ²
本社床面積	70
資機材置場面積	1212
倉庫床面積	120
従業員(人)	12

従業員数は毎年度4月1日現在の数値です

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社 谷口土木
- 対象事業所： 本社（事務所・駐車場・倉庫）、資機材置場
- 活動： 土木工事・水道施設工事・舗装工事



	役割・責任・権限
代表取締役(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境関連の内部コミュニケーションの運営管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) ・環境活動実績の確認・全体評価
各部門長 工事現場代理人 現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告(負荷報告) ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	87,269	86,660	136,884
二酸化炭素排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	177	146	327
産業廃棄物排出量	t	648	632	1,347
水使用量	m ³	106	106	63
売上高	百万円	492	593	418
従業員	名	12	12	12

※2020～2023年度の二酸化炭素排出係数： 0.418 kg-CO₂/kWh (関西電力の2017年度の調整後係数)

※化学物質の取扱いはありません。

※当社は毎年9月1日から翌年8月31日までが事業活動期間です。

※上記二酸化炭素総排出量には目標に掲げていないLPGが含まれています。

□環境経営目標及びその実績

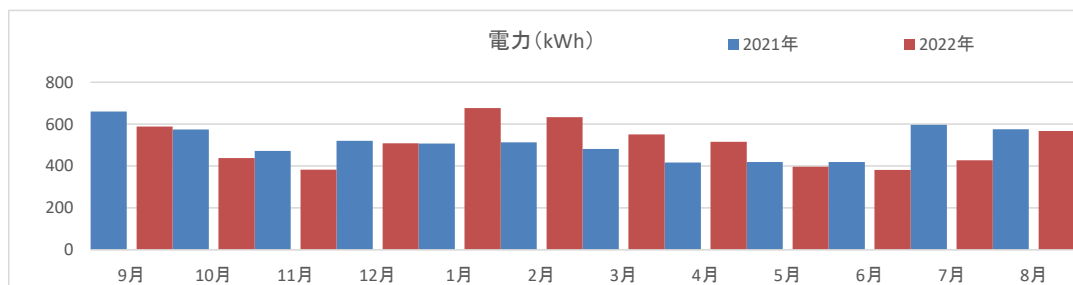
項目	年度	2021年度			2022年度		評価	2023年度	2024年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)			
電気使用量削減	kg-CO ₂	2,557	2,532	2,536	×	2,506	2,481		
	kWh	6,118	6,057	6,068	×	5,996	5,934		
	基準年度比	100%	99%	99%		98%	97%		
燃料削減 (自動車・建設機械)	kg-CO ₂	21,522	21,307	21,285	○	21,092	20,877		
	ガソリン (L)	9,277	9,184	9,174	○	9,091	8,998		
	基準年度比	100%	99%	99%		98%	97%		
	kg-CO ₂	56,205	55,643	108,562	×	55,081	54,519		
灯油使用量削減	kg-CO ₂	21,785	21,567	42,078	×	21,349	21,131		
	灯油 (L)	6,374	6,311	4,500	○	6,247	6,183		
	基準年度比	100%	99%	71%		98%	97%		
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	86,659	85,793	136,883	×	29,845	29,540		
	基準年度比	100%	99%	158%		98.0%	97%		
産業廃棄物のリサイクル率向上	%	100%	80%	100%	○	80%	80%		
	基準年度比	100%	80%	100%		80%	80%		
事務所利用水の削減	m ³	106	105	63	○	104	103		
	基準年度比	100%	99%	59%		98%	97%		
環境に配慮した施工 (全工事)		行動目標 (次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標：○達成 ×未達成

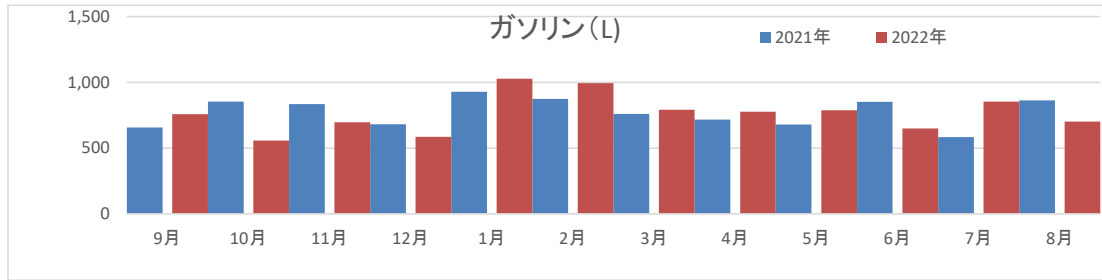
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電気使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	複数の現場が稼働すると、電気の使用量が増加する。増加していても、節電には注意する。
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・機械設備・OA機器などのスイッチオフ	○	

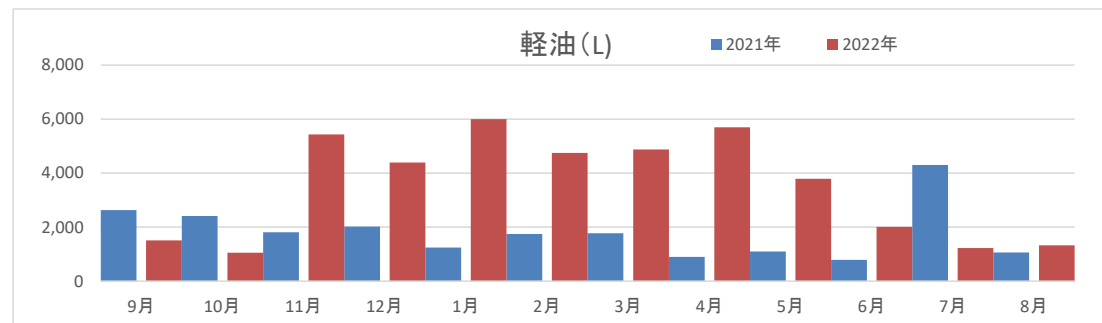


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	660	575	472	520	507	513	481	417	419	419	597	576
2022年	589	438	383	509	677	633	551	516	397	381	427	567

燃料削減(自動車・建設機械)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	現場までの距離や、使用重機によって燃料が増加する。特に今期は建設機械を多く使用する土木工事が多くなり重油の使用量が多くなった。しかし全員でエコドライブや省エネ運転には心がけた。
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・エコドライブの励行	○	
・タイヤ空気圧の確認	○	
・不要積載物の有無	○	

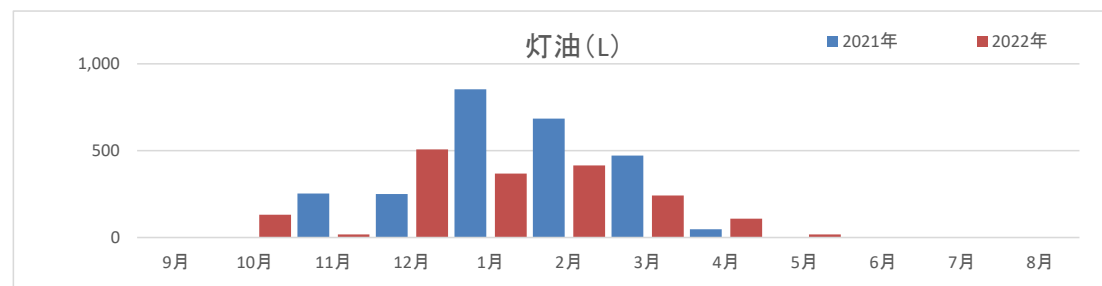


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	656	853	834	680	928	874	759	717	679	851	583	863
2022年	758	557	695	585	1,027	994	791	777	787	648	854	701



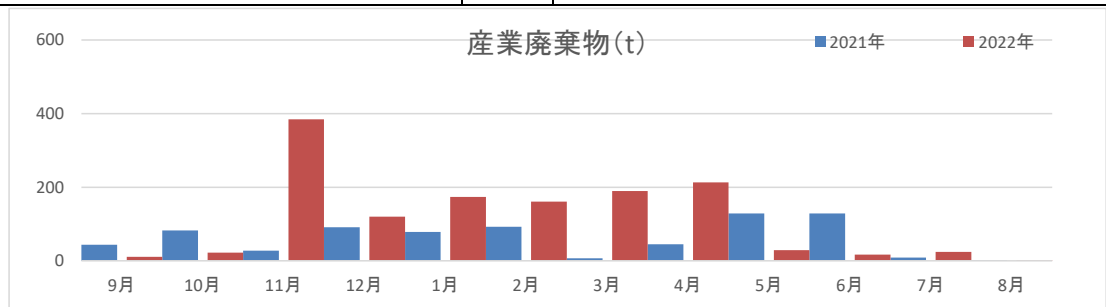
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	2,636	2,413	1,811	2,017	1,248	1,749	1,771	900	1,095	786	4,302	1,058
2022年	1,509	1,056	5,434	4,397	5,994	4,752	4,879	5,700	3,793	2,013	1,227	1,324

灯油使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	残業が多いと使用量が増加する。温度管理には注意したい。
・ストーブの温度管理(冬季20℃±1℃)	○	
・重ね着	△	



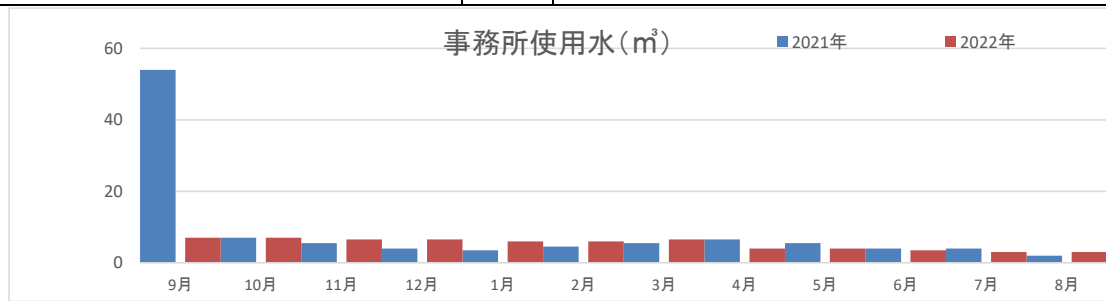
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	0	0	254	250	853	684	472	47	0	0	0	0
2022年	0	131	18	507	368	415	241	108	18	0	0	0

産業廃棄物のリサイクル率向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標は、達成できているので、引き続き無駄がないよう注意する。
・廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。	○	
・無駄な資機材を購入しない	○	
・使用済みコピー用紙を再利用する。	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	44	83	28	91	78	92	7	45	129	129	9	2
2022年	11	22	385	120	174	161	190	213	29	17	25	2

事務所利用水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	現場では、上水道を使用していない。そのため、タンクで水を運んでいる。現場数が増えると使用水量が増える。全社員で、無駄がないか注意したい。
・洗車の水使用量を減らす。	○	
・水を流しながらの洗い物はしない。	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	54	7	6	4	4	5	6	7	6	4	4	2
2022年	7	7	7	7	6	6	7	4	4	4	3	3

環境に配慮した施工(全工事)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・低騒音・低振動型重機の使用	○	各現場で取り組んでいる。引き続き取り組みを継続する。
・排ガス規制適合車の使用	○	
・環境配慮施工の維持	△	
・濁水発生防止	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券
家電リサイクル法	家電リサイクル券
大気汚染防止法	対象特定工事の届出、規制値の遵守、特定粉じん作業
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体等による再資源化
資源有効利用法	対象物品のリサイクル
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、対象特定施設の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、対象特定施設の届出、規制値の遵守
水質汚濁法	事故時の報告
消防法（危険物）	危険物の保管、届出
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検、簡易点検
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:1	
■実施日： 2023年6月24日	■実施場所 倉庫前
■参加者： 前野、西山、伊庭本、チュン、社長、専務、常務、向井	
■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥流出防止訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
汚泥流出防止のために、土嚢を作る訓練を行った。	
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年9月30日

2022年度のエコアクション21の取組みについて、全社員団結して活動出来た。二酸化炭素排出量については、本年度は建設機械を多用する土木工事が重なり軽油使用量が基準年より増加し、このため排出量が増加した。今後は少しでも環境負荷を低減すべく、全社員で積極的に環境活動を行い、更なる向上を目指したいと思います。

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |